

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 村上 良智
編集責任者: 齊藤 慎也

通建連合『労働安全衛生強化期間』 期間：2023年1月16日～2月28日

通建連合と各構成組織は、安全労働を運動の重要な柱と位置付け、安全衛生委員会等の場において各社の安全施策の展開状況について確認を実施するとともに、労働組合独自の労働安全衛生確立に向けた取り組みを展開してきました。

しかし、全国的に重症事故に繋がりがねない転倒・転落事故等が類似発生している状況にあることから、「現場の自律安全推進」に向けた活動の具現化が必要であるとの認識のもと、1月16日～2月28日の期間において、通建連合「労働安全衛生強化期間」を設定し、安全グッズ（ウェットティッシュ型除菌シート）を配布しながら安全労働に向けた注意喚起を行うとともに、「魅力ある通建業界」をめざして昨年集約した「職場実態アンケート」の現場フィードバックを実施することを決定してきました。

インフラ東北としては、東北管内においても今年度は計5件の事故が断続的に発生している現状を重く受け止め、「二度と私たちの職場からは人身事故を発生させない」ことを肝に命じ、安全意識の向上・啓蒙活動等の取り組み強化に向け、以下の内容で取り組みを展開することとします。

インフラ東北としての取組内容

期間：2023年2月1日～2月28日

- ①各職場の朝礼等において注意喚起の実施
⇒組合役員・分会長が参加し取り組み趣旨の説明および安全グッズ配布による啓蒙活動
- ②現場（労使合同）パトロールの実施
⇒労使合同による現場第一線の方々との対話を重視したパトロール
- ③通建連合「職場実態アンケート」結果の現場フィードバック
⇒安全グッズ配布時等にアンケート結果についての周知や声掛けを実施
(啓発ポスター・安全グッズ記載のQRコードよりアクセス)



← 労働安全衛生強化期間 啓発ポスター

↓ アンケート結果閲覧用 QR コード



インフラ東北『安全衛生統一行動』 取り組み結果について



インフラ東北は、「安全労働はすべてに優先する」との基本認識のもと「安全で安心して働ける職場の確保」を目指し取り組みを実施しております。2022年11月30～2022年12月31日の期間においては、インフラ東北「安全衛生統一行動」として、各職場での安全グッズ（メモ帳）配布による注意喚起や労使合同による現場第一線の作業員の方々との対話を重視したパトロールを実施させて頂きました。パトロールの様子は以下の通りとなります。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

＜パトロール実施模様＞



＜対話内容（抜粋）＞

Q. 各種安全施策についてどのように感じていますか（施策数や内容、改善してほしい点について）

- 安全に作業する為に必要な取り組みだと感じている
- 事故情報がメールで確認できる施策は現場でも手軽に確認することができるので良いと思う
- NWカメラを設置しづらい場所でも見えないとすぐに連絡が、その対応に苦慮している
- 外線などの作業場所の移動が多い時のNWカメラ設置に移動が掛かっている
- 事故を起こさないために必要だと理解しているが、施策を増やすだけではなくポイントを絞ったものにしてほしい
- 脚立の使用方法など現場に合わないと思う部分もあるため、現場の意見も聞いてほしい

Q. 現場での課題や問題、困りごとはありますか

- 冬期間の電柱建替工事現場の除雪や作業車を停める為の除雪に時間がかかり、場合によっては出戻りも発生すること
- 積雪地域の為、どうしても現場到着や作業が遅れてしまうことが多々ある
- 作業環境が良い場所ばかりではないため、デスクも一体となってもっとフォローをしてほしい
- 設計段階での周辺住民への工事説明が不足している場合があり、工事を取りやめる時があること
- 柱の種類やアンカー種別、ケーブル径が異なると労力も変わってくるが、施工単価が同一なのはおかしい
- 繁忙期に入った際の人手不足
- 点検口の中を見るカメラや棒が欲しい

現場での対話において皆様から頂いた意見をもとに、各事業所での安全衛生委員会等の場で改善に向けた労使議論を行い、より良い職場環境の実現に向けて取り組みを行っていくこととします。

冬期間に入り、東北地方においてはますますの作業環境の悪化に加え、年度末の繁忙時期を迎えます。決して慌てることなく、現場環境を踏まえた安全作業に努め、仲間そして家族のもとに笑顔で帰りましょう！

「安全衛生統一行動」へのご協力ありがとうございました！